

# 【川内小学校】通学路対策箇所図



危険箇所：2 凡例 ■  
(危険箇所の状況)  
・横からや後ろから車の通行量が多く、危険を察知できないし、接触する可能性がある。  
(対策内容)  
・左側（横断歩道側）へ区画線を設置

危険箇所：1 凡例 ■  
(危険箇所の状況)  
・登校時間帯の通行量が多い。  
・スピードの出しすぎ、信号無視の車が多い。  
・歩行者優先道路に駐車している車があり、左折車が登校中の児童に接近する 때가あった。  
(対策内容)  
・郵便局前のカラー舗装の区画線塗り直し済み  
・郵便局北側町道の道路に『横断者注意』の道路標示を設置  
・カラー舗装に車両駐車禁止を促すステッカーの設置  
・警察官による街頭指導の実施  
・横断歩道の塗り直し上申  
・学校・PTAによる街頭指導を3人態勢で実施することを検討  
・横断歩道前で安全確認を行うよう児童へ引き続き指導

危険箇所：3 凡例 ■  
(危険箇所の状況)  
・横断歩道や停止線がないので、町道側から出てくる車両は一時停止することなく県道前まで走行してくるため、児童と接触する可能性が高い。  
(対策内容)  
・外側線の延長上に点線（ドットライン表示）を設置

この背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから配信されたものである。